

# 郵産労岡山

郵便事業会社岡山支店私書箱 222 号

2010 年 3 月 春闘特別号

発行責任者 服部 寿

## 郵政グループの退職引当金(内部留保)は 3兆7千億円<sup>☹</sup>で 賃上げ可能！！

3月12日に行われた郵産労と郵政グループの第五回交渉の中で、郵産労は次のような主張を行いました。

内部留保は「退職給付引当金」「価格変動準備金」「危険準備金」などがありますが、「退職給付準備金」のみで3兆7千億円を内部留保。退職金は毎年1千億円程度で十分で37年分留保する必要は無く、期間雇用社員の時給を200円引き上げても860億円程度。満額回答は可能です。

### 赤字？ いやいや大幅黒字です！

会社は「赤字で大変」などと宣伝していますが、グループの3月期決算の通期見通しは日本郵政1390億、局会社340億、ゆうちょ銀2700億、かんぽ生命640億、郵便事業230億円と「すべてが黒字見通し」となっており、年度計画からも賃金引き上げは可能です。

### JPAXの赤字376億！ 現在も増大中…

郵便事業の経営不振が強調されますが、3月期の「中間決算」では確かに179億円の純損失を公表しました。しかし、この大きな原因は日通との宅配統合（JPAX社）への出資金損失376億円によるもので、これを理由に社員にタダ働きや自腹を強要するのは問題外！経営陣の責任こそ問われる問題です。

さらに、経営状況の説明の中で「3種郵便の落ち込み」が強調されましたが、一昨年から昨年にかけて明らかになった3種郵便悪用による郵便料金不正事件により引受けが大幅に減少したことによります。

### 最大労組が同じ立場では

会社の説明をそのまま受けて経営不振や危機を組合員に説明するような労働組合では賃上げや雇用の確保は出来ません。まして、参議院選挙の候補者宣伝のような組合情報誌に「どうなっているんだか…?」。郵産労とともに春闘を闘いましょう。

**組合差別をやめ組合事務室を貸与せよ**

# 郵産労働岡山

郵便事業会社岡山支店私書箱222号  
2010年 3月18日 第232号  
発行責任者 服部 寿

## 参院予算委員会公で確約

# 12万人を正社員に!

12日、参院予算委員会で日本共産党の大門議員は亀井担当大臣に郵政グループの21

万人の非正規労働者の雇用問題を取り上げ「3年以上契約更新する非正規社員のうち、希望者は出来るだけ早く正社員にすべき」と強く求め、大臣も正社員化を確約しました。

とくに「実際は5年10年と契約更新を繰り返している契約社員は本来ならば優先的に

正社員にすべきだ」と主張。亀井大臣も「おっしゃる通りにいたします」と答えました。

亀井大臣は先月27日にも中国支社を訪れて非正規社員と意見交換をし、希望者は正社員

として雇用する考えを示しました(2月28日付「中国新聞」)。

## 事業会社社長が辞任

郵便事業会社の北村会長が退任する事が13日分かりました(朝日新聞)。最高経営責任

者が鋼管社長に代わり「経営トツプとして効率化を進める立場に無くなった事が理由」と

されていますが、強烈になった「タダ働き」や「営業押し付け」、日通との強引な提携の責

任者でもある同氏。「辞めれば済む問題ではない」「現在でも367億円の損失は、まだま

だ腹む可能性があり経営責任を取れ!」などの現場の声。

## 続く! パレット事故

黄色パレットの事故が続いています。「手を詰めた」や、中板が落ちてきて「タンクが

出た」などというのは毎日の中で、頭を何針か縫ったなどの重大事故もあるのに先ごろ

あった労基署の調査の際に「この問題が出なかったのか」が不思議。話があったのに会社

側が説明しないのか、いくつかの事例を挙げ「注意してください」との周知のみです。

## 総務省が監査に力入り

15日から3日間、総務省の監査が岡山支店に入りました。数日前から支店長お得意の

陣頭指揮でテーブルを張ったり看板をつけたり、アツチコツチ掃除をしたり「検査済み」の

紙を貼ったりと大忙し。それでも目が行き届かなかった点を指摘されてしまい「支店長の

カニナリが落ちたらしい」との事。

それにしても、ひどい状況での配達の事故やパレット事故、引受けや取り扱いに疑問

のある郵便や、監査日だけ滞留の無い郵便。社員の「タダ働き」や勤務時間が無い中間管

理者や、自腹の「営業押し付け」などなど上げればきり無尽問題点には「目に付かない?」

の形式上の隅この指摘に「総務省役人は快感を覚えているのかな」と言われるような

内容が多いらしい。「何をしているの?仕事もやりにくくなる」は社員の声。

## 組合事務室不貸与は不当労働行為

## 和解内容に従い組合事務室を貸与せよ